

新河岸町会

新河岸町会は、板橋区の北端に位置し、北の荒川と南の新河岸川に挟まれた工業地域、準工業地域の町で多くの会社・工場があります。

戦後まもなく昭和25年4月1日、約200世帯で高島平地区最初の町会「新和会」として発足し、昭和28年4月1日、新河岸町会に改め、平成29年で創立60周年を迎えました。

新河岸は古くから人々が住み、弥生時代と平安時代の遺跡が発見され、早瀬前遺跡として発掘調査が行われた地域です。

町内一丁目には、区立新河岸小学校、幼稚園やゴルフ練習場、二丁目には、区立新河岸保育園、三丁目には、東京都新河岸水再生センター施設があります。

現在町には、東西へ新河岸中央通りが延び、南北に高島平駅に通じる桜並木の「徳丸みち」があります。

「いたばし花火大会」や「東京荒川市民マラソン大会」が開催される荒川戸田橋緑地へ通じるメインストリートとして、区民の多くの人々に親しまれています。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



新河原町会の街並み